

令和3年度（2021年）くまモンが先生となった教育活動推進事業
プログラム応募要領

1 目的

将来を担う子供たちが、自らの夢を実現し、熊本の未来を創造する原動力となることを目指して、「くまモン」を活用した効果的な学習活動・体験活動のプログラムを募集する。

2 応募対象

県内（熊本市を除く）の地域学校協働活動（地域と学校の連携・協働による授業等、放課後子供教室での体験活動等及び地域未来塾での学習等）を実施している学校等

3 応募について

(1) 応募締切日

＜一次募集＞ 令和3年（2021年）5月28日（金）

＜二次募集＞ 令和3年（2021年）8月27日（金）

(2) 提出書類

ア 「くまモン先生」応募用紙 【別紙様式1】

イ 「くまモン先生」活動プログラム案 【別紙様式2】

ウ 感染防止対策チェックリスト

(3) 提出方法

各市町村教育委員会から提出があった応募用紙を管轄する教育事務所で取りまとめのうえ、熊本県教育庁市町村教育局社会教育課（以下「県社会教育課」という。）へ提出する。

(4) 留意点

- ① プログラム案は、市町村の教育委員会担当者及び地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）等が作成することとするが、関係する学校等とも十分調整を行うこと。
- ② プログラム案の内容は、くまモンの活動や子供たちの活動（具体的な動き等）が分かるように工夫すること。
- ③ 活動の始まりの場面では、主たる指導者が活動の目的や趣旨を伝えること。
- ④ 活動の終末の場面では、活動を振り返るよう工夫するとともに、くまモン先生から子供たちの活動等を評価する場面を設定すること。
- ⑤ 活動のねらいを踏まえ、くまモンを「先生役」として活用すること。（くまモンは話すことができないことから、アシスタント等がくまモンの意思を伝えながら活動することも有り得る）
- ⑥ 活動は全体で45分程度の内容を考えること。その内、くまモンの活動時間は30分程度が望ましい。
- ⑦ プログラム作成に当たっては、別紙『くまモン先生』活動プログラムの作成に当たって」を参考の上、応募すること。

4 審査及び結果について

(1) 審査方法

県社会教育課において審査し、優れたプログラムを選考する。

(2) 結果の公表

選考の結果は、県社会教育課から管轄する教育事務所を通じて各市町村教育委員会に通知する（山鹿市へは直接通知する）。

(3) 「くまモン先生」の派遣

日程調整の上「くまモン先生」を派遣するため、希望する期日と異なる場合がある。

5 その他

(1) 「くまモン先生」の派遣に係る旅費の負担は必要としない。ただし、プログラムの実施に必要な準備物等は、各地域学校協働活動を実施する市町村教育委員会にて準備を行い、経費を負担するものとする。

(2) 活動終了後、2週間以内に「くまモン先生」活動報告書【別紙様式3】

及び活動の内容が分かる写真（4枚程度）を県社会教育課へ提出すること。